

ながの環境パートナーシップ会議

令和6年度通常総会 会議記録

日 時 令和6年6月27日(木) 午後6時から7時30分まで

場 所 長野市ふれあい福祉センター 5階 大ホール

出席者 出席者数76(出席者20+委任状56 (会員数115))

1 開 会 事務局長 小田切環境保全温暖化対策課長

定刻につき会員数、出席者数及び委任状の提出数が総会開催定足数を満たしているため、ながの環境パートナーシップ会議会則第25条の規定に基づき、総会は成立し開会する。

2 あいさつ 河西代表理事

総会に向けて一言ご挨拶申し上げます。

昨年度の環境活動発表会では、次世代(学生)による環境活動の取り組みを知ることができた。

代表理事になり2年、本会の活性化を図ってきたが、会員の減少と高齢化が進み、次世代への活動継承の必要性が目の前に迫っている。

さらに、地球規模の温暖化防止には、地域の環境保全活動を自分ごととしてとらえ、当会の理念である長野市の環境ビジョンの実現に、一人一人が意識することだと考えている。

本日の総会が、会員の皆様が長野市の環境ビジョンを再認識し、目標に向かって各プロジェクトチームとともに活動を始める第一歩となることを望む。

3 議長選出 赤羽副代表理事

4 議事と主な意見・質疑等

【第1号議案】

- (1) 令和5年度活動報告について (事務局、各リーダーから報告)
- (2) 令和5年度収支決算報告について (事務局から報告)
- (3) 令和5年度監査報告について (小林監事から報告)

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【第2号議案】

- (1) 令和6年度運営方針(案)について (河西代表理事から説明)
- (2) 令和6年度活動目標・活動計画(案)について (事務局から説明)
- (3) 令和6年度収支予算(案)について (事務局から説明)

会 員 ⇒ 新型コロナウイルス終息後、プロジェクト活動が活発になっているのに、市からの負担金が少ないのではないかと。

事 務 局 ⇒ 全体の事業の進捗を見ながら、財政当局との予算の要求の中で決まるもの。本会の活動が活発になっていること、上がった成果については、財政当局に伝えていきたい。

会 員 ⇒ 本会のブランド化、費用対効果について検討してはどうか。

事 務 局 ⇒ ブランド化という表現でよろしいかわからないが、運営方針にあるXを使用した情報発信や、市の広報等を活用し、本会の活動の周知に力を入れていく。

費用対効果については、理事をはじめ様々な方々と相談のうえ、どのような形で費用対効果の検討ができるのか、研究を進めて参りたい。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【第3号議案】

(1) 理事の選任について

ア 理事選任

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【新理事】(立候補順)

河西弘明、小笠原幹夫、赤羽和春、上條補喜、竹内孝謹(長野市環境部長)

イ 代表理事・副代表理事の決定

理事の互選の結果、次のとおり決定

【代表理事】 河西弘明

【副代表理事】 赤羽和春、上條補喜

【その他】

会 員⇒

現在、企業ではTNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース:企業の財務情報を開示する際のフレームワークのひとつ。企業の事業活動が自然環境や生物多様性とどのように関連し、どのようなリスクや機会を与えるかを評価・報告すること。)というものが求められている。市が情報発信してくれるからそれを頼るのではなく、自分たちで情報を集めて、TNFDのような世の中の動きを巻き込んで行って欲しい。

会員の減少などの課題はあるが、我々の活動は極めて価値が高いものになっていることに自信を持っていただきたいというメッセージを送りたい。

5 閉 会 事務局長 小田切環境保全温暖化対策課長

閉会を宣言し、散会した。